

教材教具名	プラ容器の分類	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・色や形、模様の違いに気付く		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・容器を提示し、同じ容器の上に重ねていく。

<材料>

- ・プラスチックの皿、器、コップ、シール

<工夫点>

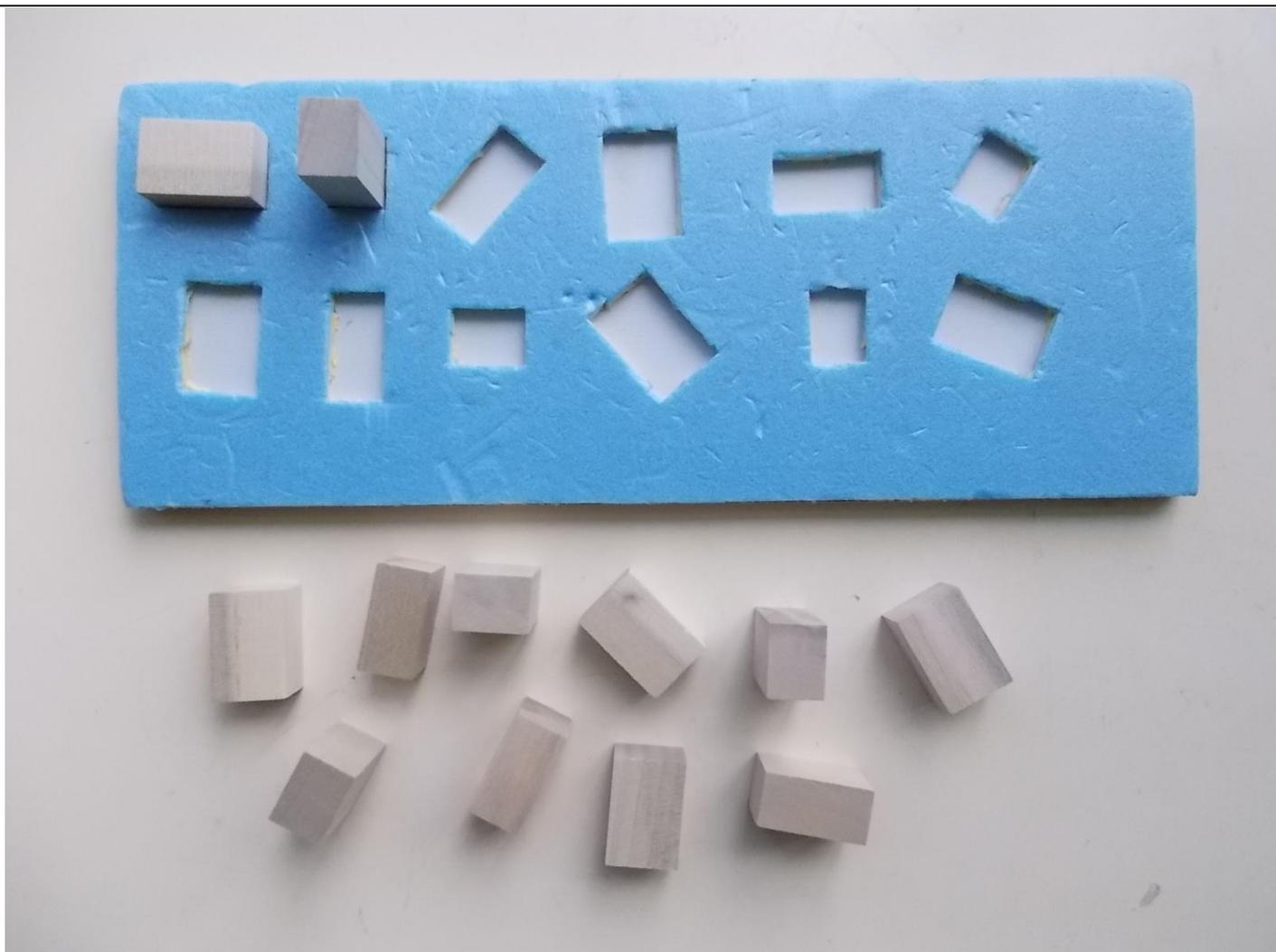
- ・割れない様に、プラスチックの容器を使用した。
- ・模様は真ん中だけではなく、縁にも模様を付け、難易度をつけた。

<効果>

- ・給食の下膳時に同じ皿を重ねられるようになってきた。

教材教具名	ブロックの1対1対応	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・型に合わせて向きを変えることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ブロックを型にはめる。

<材料>

- ・スチレンボード、ブロック

<工夫点>

- ・様々な面の型を用意し、型に合うようにブロックの向きを変えなければいけない点。

<効果>

- ・ブロックを平面で見るのではなく立体的に見るようになり思考力アップ

教材教具名	型はめ	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・同じ形の穴にブロックを入れることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・6種類のブロックを1つずつ手渡し、それぞれに穴に入れる。

<材料>

- ・6分割ケース、発砲スチロールの板、6種類のブロック

<工夫点>

- ・穴に入っても取り出してしまうので、取り出せない深さのケースを使用した。

<効果>

- ・取り出せないことで、スムーズに次のブロックに取り組めるようになった。

教材教具名	フォークとスプーンの分別	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・形を見て分類をする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・スプーンとフォークをイラストが描かれた箱の中に分別して入れる。

<材料>

- ・プラスチックスプーン&フォーク・お菓子の箱・スプーンとフォークのイラスト

<工夫点>

- ・イラストの下地を黒くすることで見やすくした。

<効果>

- ・スプーンとフォークがぴったり入る大きさの箱を用意することで学習しやすい様子があった。

教材教員名	イラストのマッチング	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・同じイラストを選んで黒枠の中に貼ることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・2枚または3枚の中から同じイラストを選んで黒枠の中に貼る。

<材料>

- ・ホワイトボード・イラスト・貼パネ

<工夫点>

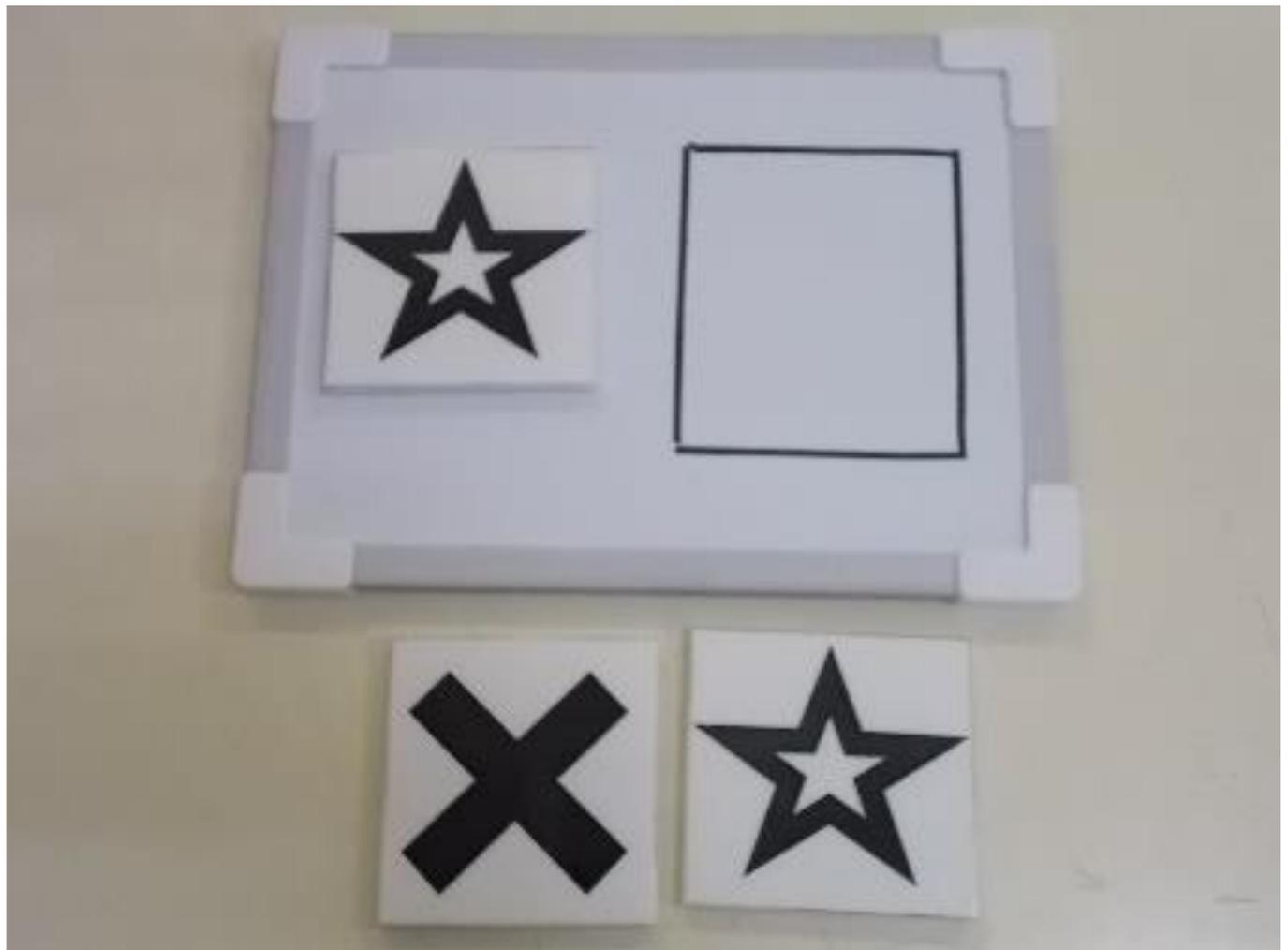
- ・児童の好きなキャラクターにすることで楽しく学習できるようにした。

<効果>

- ・好きなキャラクターということもあり、興味をもって取り組むことができていた。

教材教具名	○×☆のマッチング	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・図形に注目し、同じものを選ぶことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ホワイトボードに貼られている図形と同じものを選び、隣に貼る。

<材料>

- ・図形、ハレパネ、ホワイトボード

<工夫点>

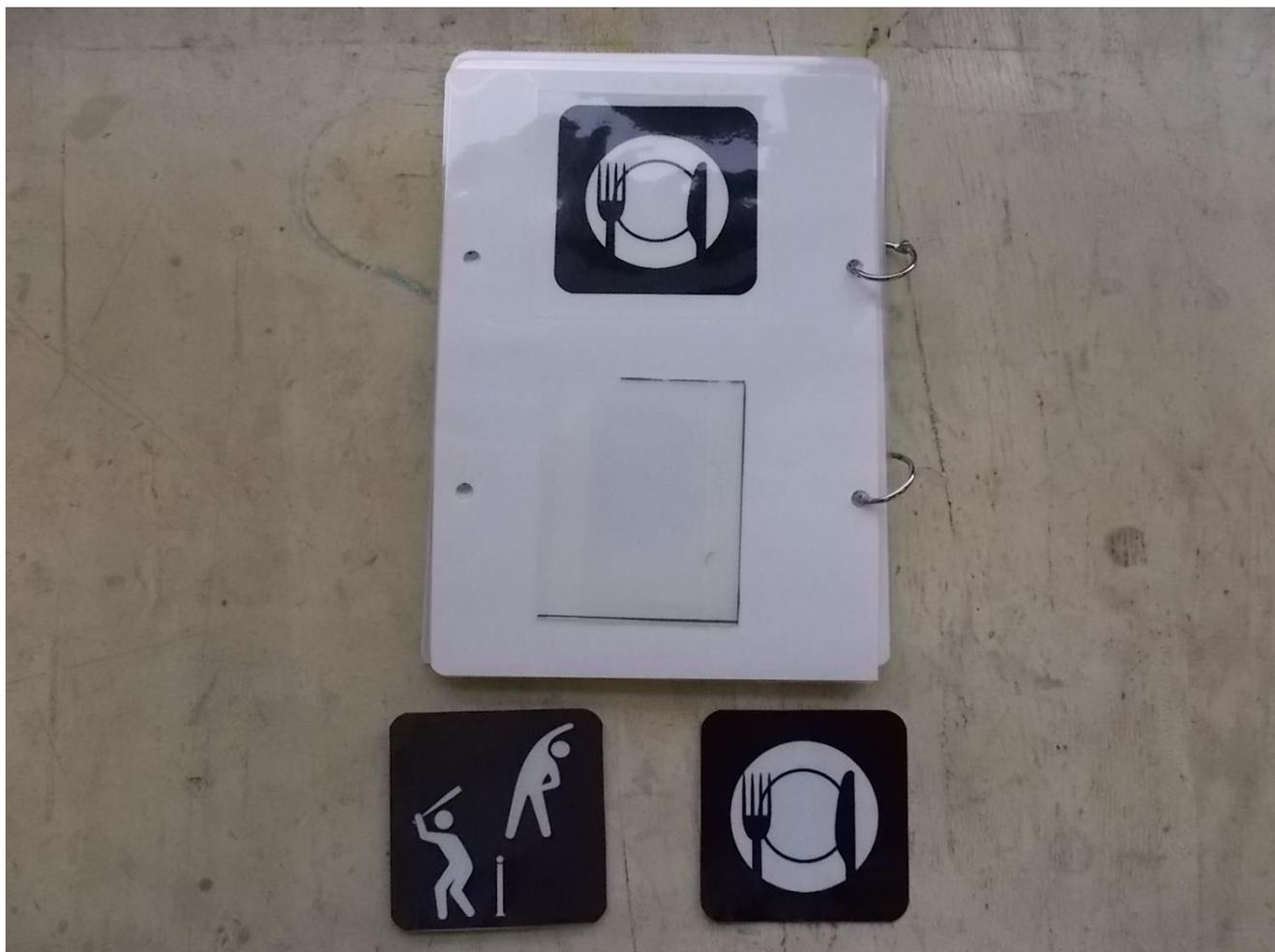
- ・図形の線を太くすることで見やすくした。扱いやすいように高さを付けた。

<効果>

- ・違いが分かりやすい図形の2択から取り組むことで、やり方を理解できるようになった。

教材教員名	ピクトグラムのマッチング	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・数学 個別課題学習（中学部）
ねらい	・ピクトグラムのマッチングができるようになる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・教材を提示して、2択で選択させる。

<材料>

- ・A6用紙 ラミネートフィルム クリアファイル（透明）

<工夫点>

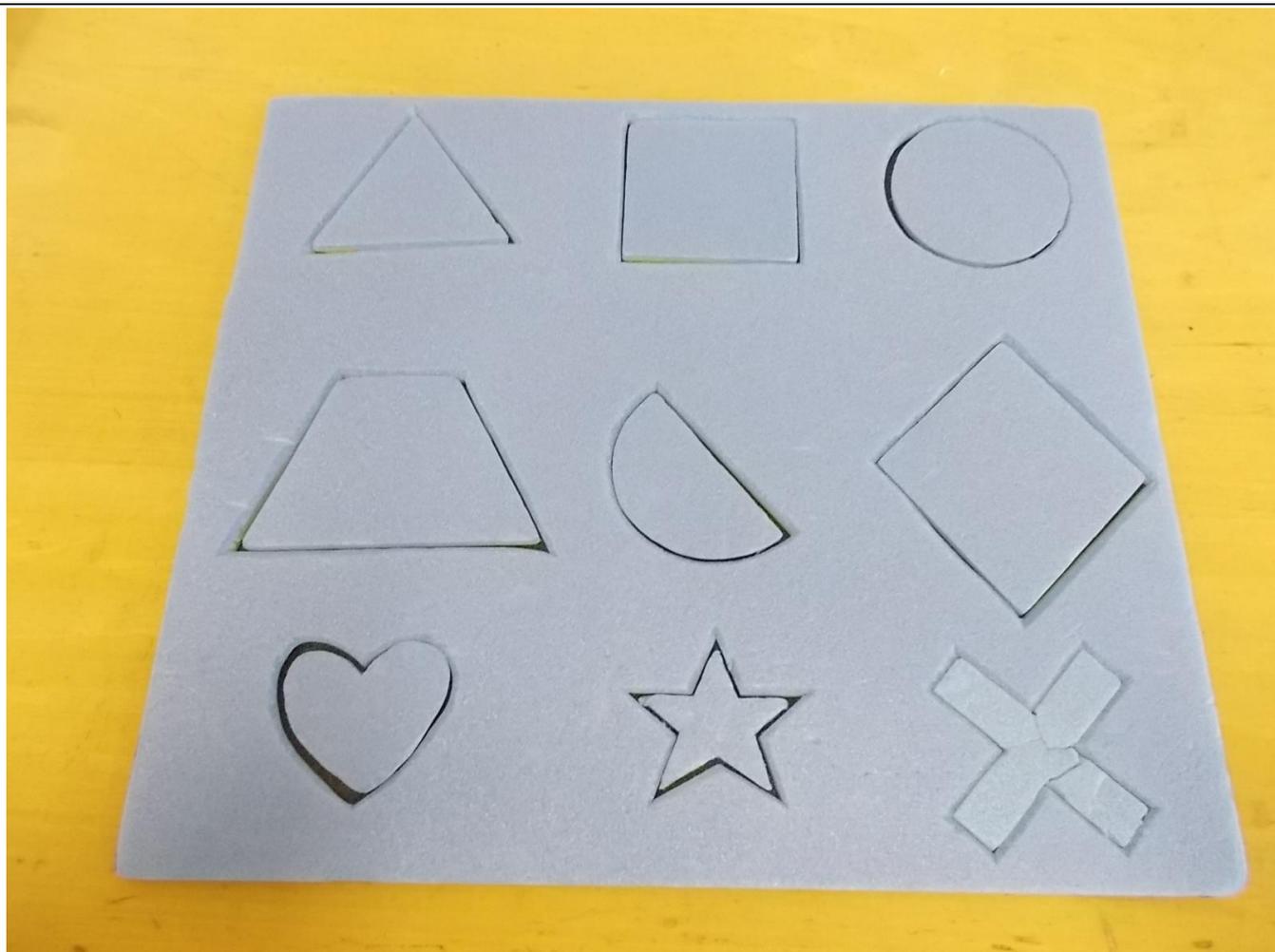
- ・もともとマジックテープではる課題にしていたが、手の力が弱く誤答の時にはがすことが難しかったことと、上に重ねて貼ってしまうと答え合わせが難しいことから、カードをクリアファイルに挟む課題にした。

<効果>

- ・はじめはカードを入れることが難しかったが、切込みを手掛かりにクリアファイルをめくり、カードを入れることができた。慣れてくると一人で入れることができるようになった。

教材教具名	基本図形の型はめ	分類	記号の学習ー形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・形の違いに気付く		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・はめる物を入れ物に入れ、型にはめる。

<材料>

- ・カラーボード、両面テープ

<工夫点>

- ・下地の色を黒にし、はめる所を見やすくした。
- ・はめやすいように、はめる物を少し小さくしたり面取りをしたりした。

<効果>

- ・○や☆など違いが分かりやすい型は、すぐにはめられた。□と◇は間違えることが多いが、ピッタリはまっていないことを伝えるとはめ直すことができた。

教材教具名	かたはめ	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・長さの違う木の弁別、型にはめることができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・同じ長さの木を台紙にはめる

<材料>

- ・スチレンボード、木

<工夫点>

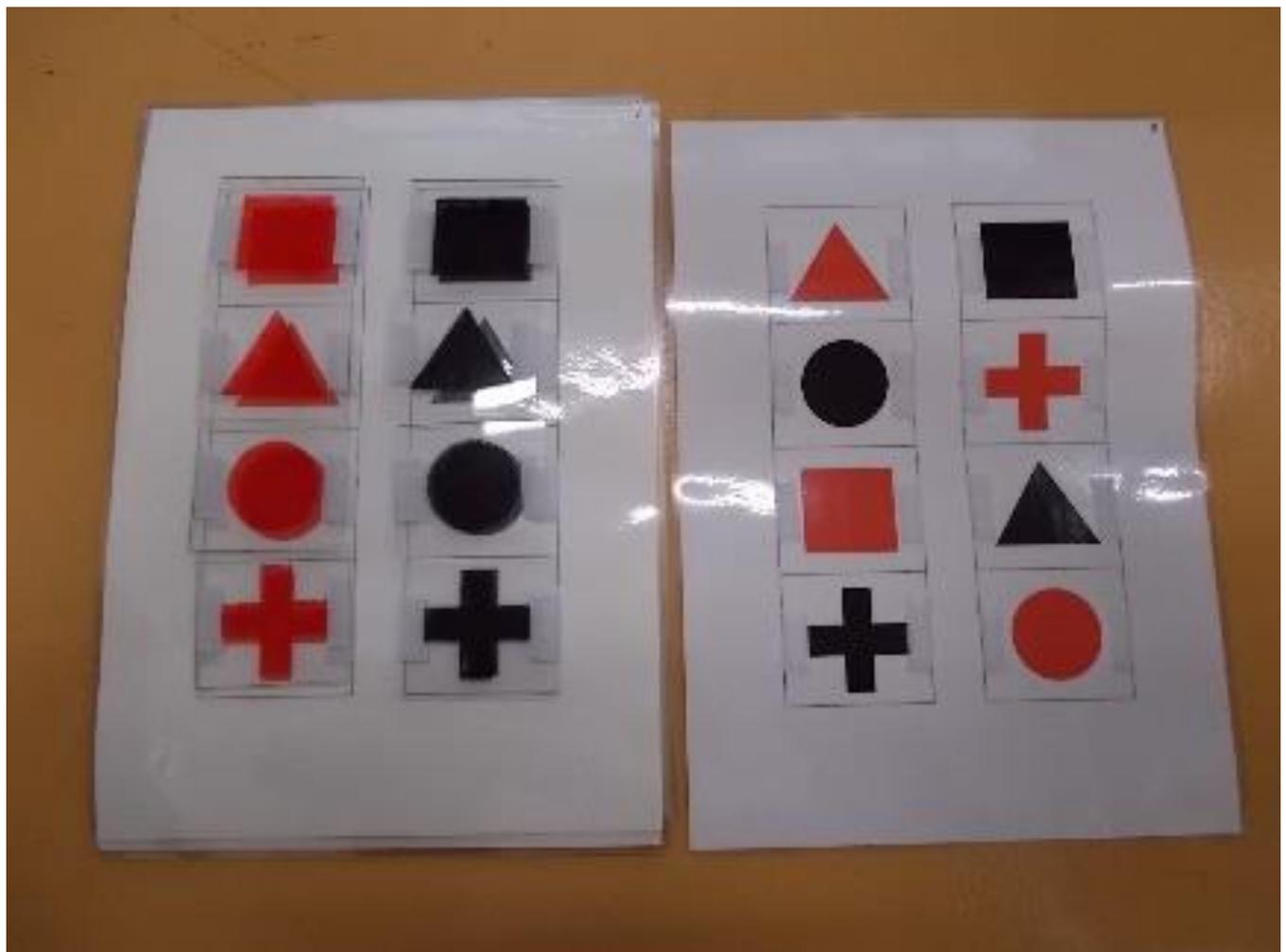
- ・方向を縦と横のみにした。また、長さ同じものが連続してかたはめできるようにした。

<効果>

- ・形の弁別、微細運動に取り組むことができた

教材教具名	マッチング	分類	操作の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・二色のマッチングに取り組ませることで、手元への注目を促す。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・2色の形のカードを同じ色形のところに貼り付ける。

<材料>

- ・下敷き、ラミネートフィルム、紙、両面ファスナー

<工夫点>

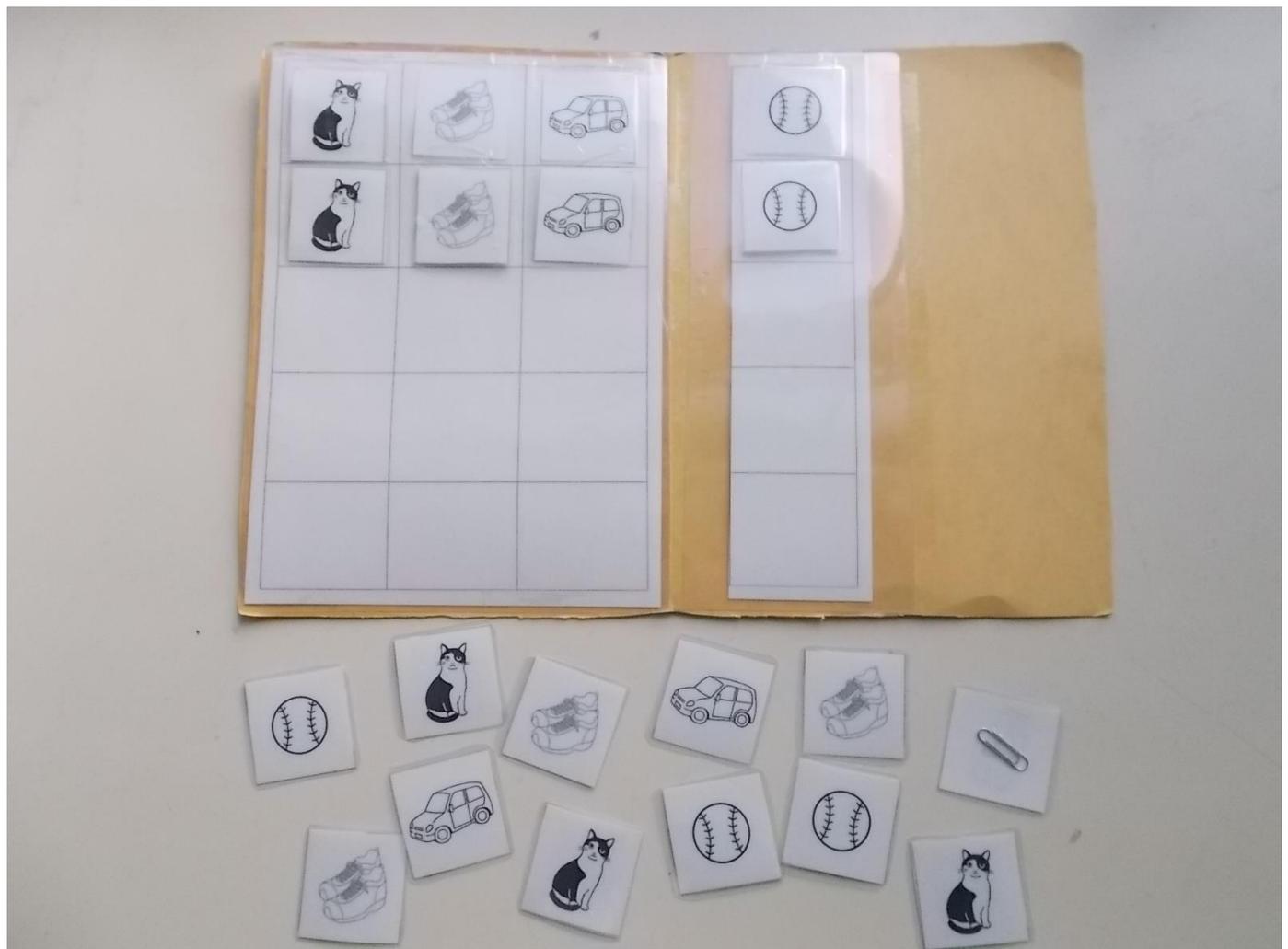
- ・配置を入れ替えて取り組ませるようにした。

<効果>

- ・日常生活で手元を見なかったが、この課題に取り組むことで手元を見るようになった。

教材教員名	カードの弁別	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・絵や写真カードを種類別に分類することができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・1番上の見本を見て、同じカードごとに分類する。

<材料>

- ・カード、画用紙、磁石、クリップ

<工夫点>

- ・台紙に磁石、カードにクリップをつけ、くっつく感覚で置く場所をわかるようにした点。

<効果>

- ・磁石があることで自信をもってカードを置くようになった。

教材教具名	2切片パズル	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵を手掛かりに縦・横の向きにはめることができる。</li> <li>型にはめることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 絵を見て、型にはめる。

<材料>

- カラーボード、両面テープ、イラスト

<工夫点>

- 下地の色を黒にし、はめる所を見やすくした。
- はめやすいように、はめる物を少し小さくしたり面取りをしたりした。

<効果>

- 絵を手掛かりに枠の中に型をはめていた。
- 横向きと縦向きを用意したので、向きを変える等、難易度を上げることができた。

教材教員名	2片パズル	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・見本と同じキャラクターを完成させることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・見本を見てキャラクターの2片パズルを行う。
- ・全部完成したら袋に入れて片づけをする。

<工夫点>

- ・子どもに身近なキャラクターで行った。
- ・分かりやすい顔のみで行った。

<効果>

- ・はじめは、とりあえず型に入れるという感じだったが、見本に注目するように言葉かけしながら行うことで、見本に注目し、少しずつ完成できるようになってきた。

教材教員名	2切片パズル	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・見本をみて、パズルを完成させることができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・見本をみて、生徒がパズルを完成させる。

<材料>

- ・スチロール板、カッター、パズルにしたい絵、ラミネート、両面テープ

<工夫点>

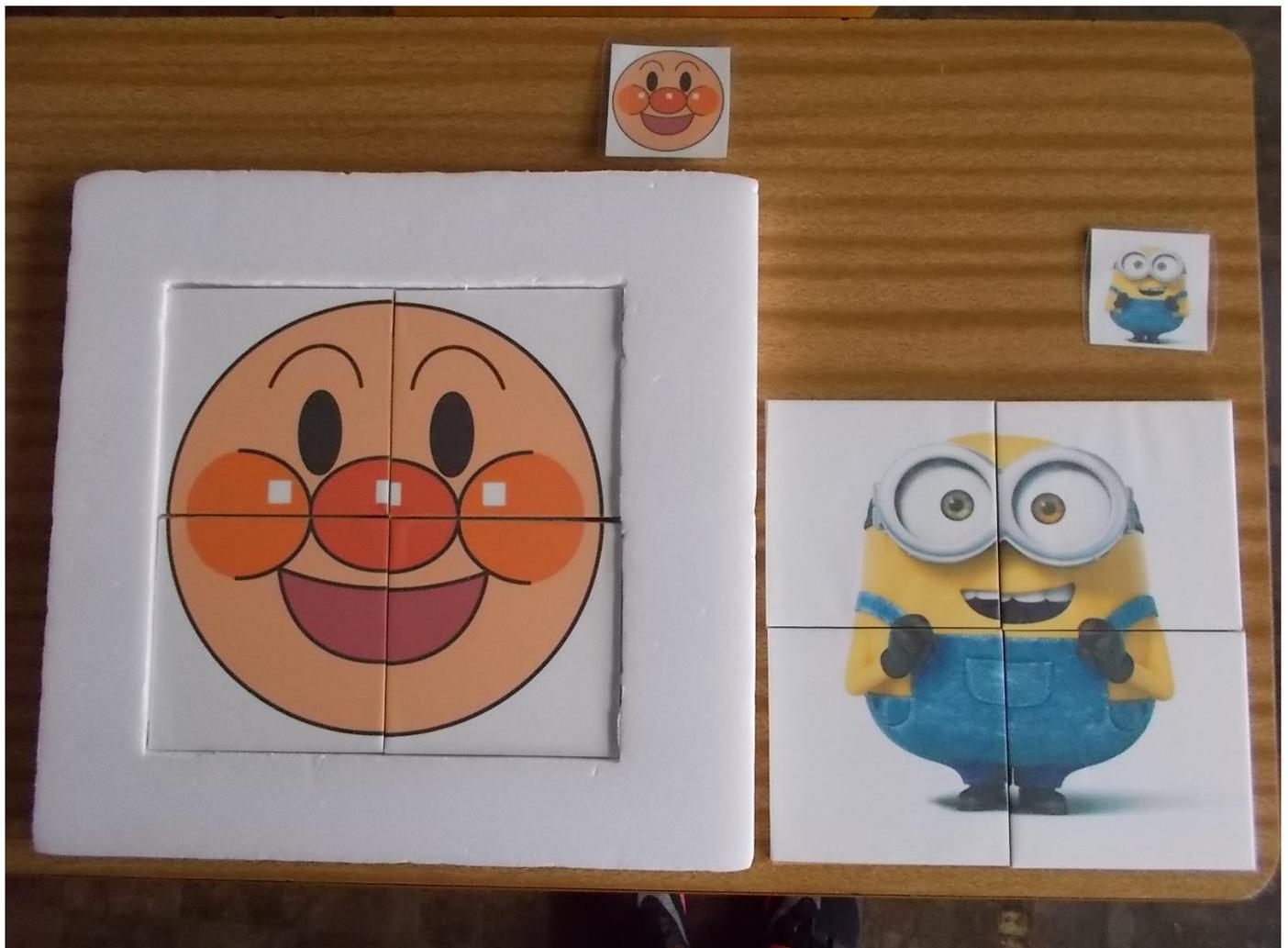
- ・見本を完成形として意識できるように、見本の枠と生徒が行う枠を近くした。

<効果>

- ・最初から2つをはめることは難しかったので、顔の部分だけを生徒がはめるようにしたところ、意欲的に取り組めるようになった。
- ・慣れてくると、たくさんの種類の動物カードから見本をみて、必要なピースを選ぶことができるのではないかと考えている。

教材教員名	切片パズル	分類	記号の学習ー形から文字へ
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高める。</li> <li>• 絵の理解につなげる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 切片を操作して絵をそろえて枠に入れる。

<材料>

- 木片、カバーフィルム、イラスト

<工夫点>

- 枠にぴったりはまるように制作した。

<効果>

- 絵の完成図を見たり、枠に入れられた一つのパズルを手掛かりにパズルを完成させることができるようになってきた。

教材教具名	ひらがな・カタカナ マッチング	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・文字への関心を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・文字の上に、同じ文字のマグネットを重ねていく。

<材料>

- ・ホワイトボード、マグネット、イラスト

<工夫点>

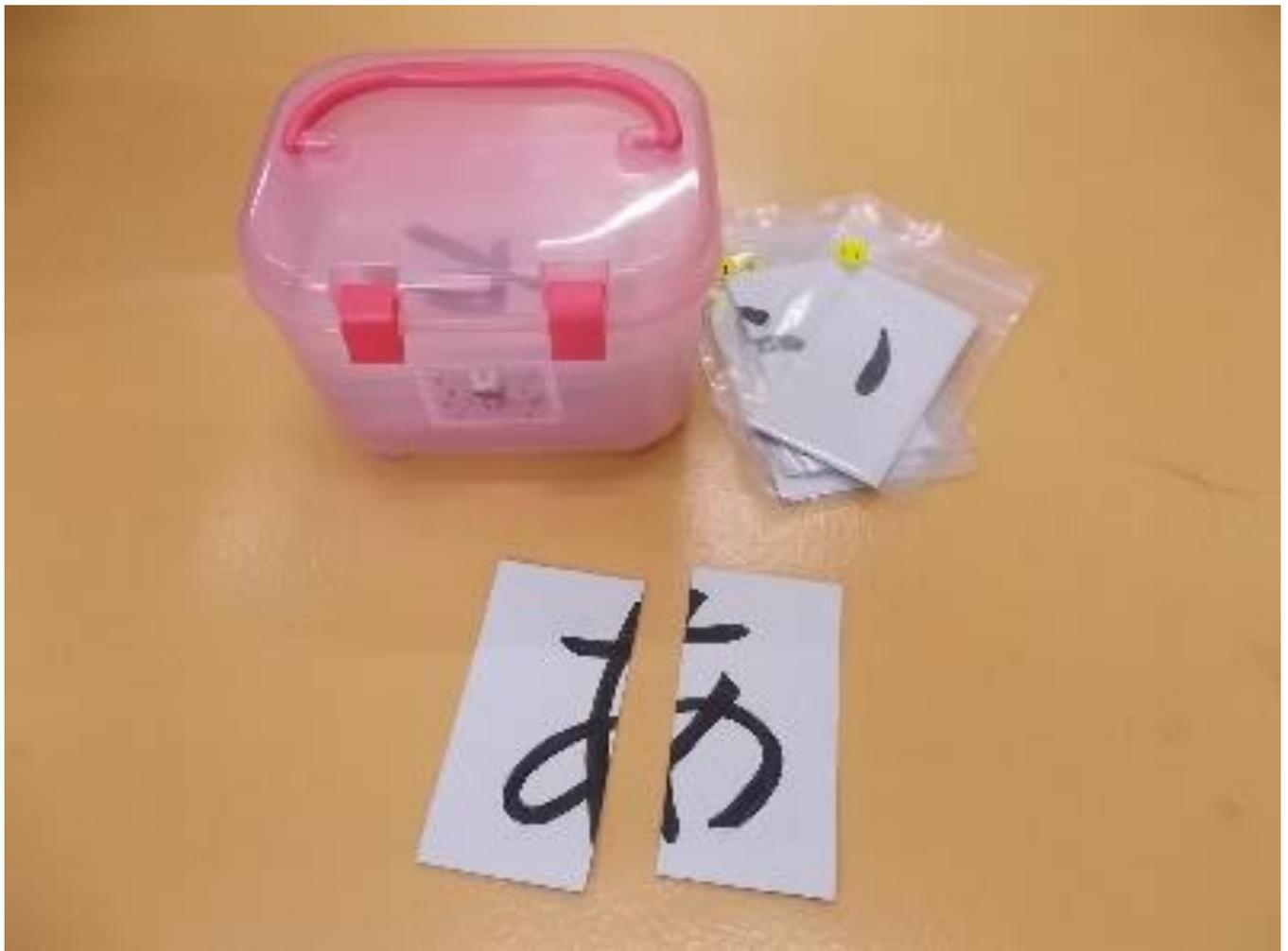
- ・好きなキャラクターや動物にすることで、学習意欲を高められるようにした。

<効果>

- ・関心のあるものを対象にしたことで、名前を言いながら学習に取り組めた。

教材教具名	ひらがなパズル	分類	記号の学習ー形から文字へ
		授業名	個別課題学習
ねらい	・パズルとして取り組みながらひらがなの形に親しむ		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・バラバラにしたピースを組み立て、ひらがなを作る

<材料>

- ・厚紙

<工夫点>

- ・苦手な文字がないようにまんべんなく出題する。

<効果>

- ・文字を見慣れ、認識しやすくなった。

教材教具名	平仮名・数字マッチング	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・同じ文字や数字のポケットに入れることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ランダムでカードを抜き出しておき、同じ文字や数字を探してポケットに入れる。

<材料>

- ・ポケット付きカレンダー、粘着タイプのゼッケン（下地の数字隠し用）、文字・数字カード

<工夫点>

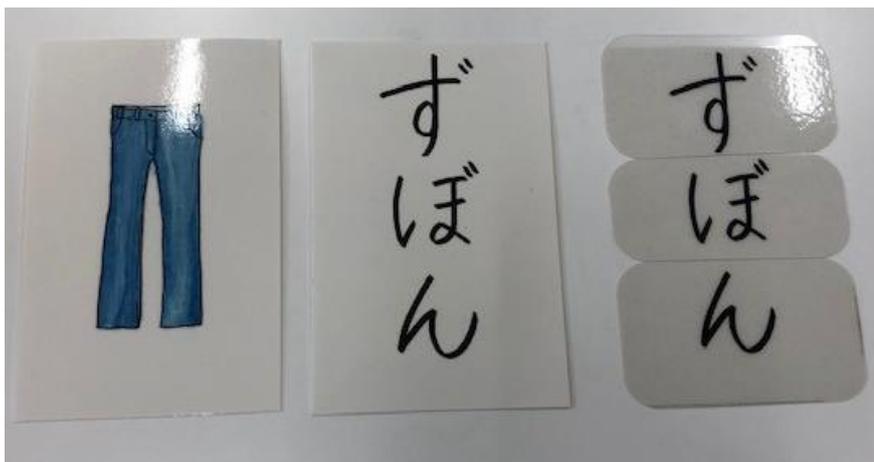
- ・プットイン課題が好きなことと、上に重ねるやり方だと難しかったため、ポケットに入れるやり方の教材にした。

<効果>

- ・ポケットに書かれた文字と重ね合わせることで、似た文字も間違いに気が付いて正しく入れることができるようになった。

教材教員名	文字カード	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	・「ひらがな2～3文字の単語カード」から「ひらがな一文字」ずつを認識する。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・1枚の「絵カード」を提示し、机上の5枚の「文字カード」の中から選ばせ、正解したら教員が口頭で文字カードのひらがな一文字ずつを指さししながら確認する。
- ・1枚の「文字カード」を提示し、机上の5枚の「絵カード」の中から選ばせる。正解したら教員が口頭で文字カードのひらがな一文字ずつを指さししながら確認する。
- ・口頭で読み上げた単語を、机上の5枚の「文字カード」の中から選ばせ、正解したら教員が口頭で文字カードのひらがな一文字ずつを指さししながら確認する。
- ・口頭で読み上げた単語を、机上の5枚の「絵カード」の中から選ばせ、正解したら教員が口頭で文字カードのひらがな一文字ずつを指さししながら確認する。
- ・『「絵カード」と対になる「文字カード」を隣同士並べた物』を机上に5セット用意し、『その5セットの「文字カード」を一文字ずつに切った、ばらばらのひらがなチップ』からマッチングで「文字カード」の上に並べさせ、並べた一文字を口頭で確認する。
- ・『「絵カード」と対になる「文字カード」を隣同士並べた物』を机上に5セット用意し、「文字カード」だけひっくり返し白紙の状態にする。『その5セットの「文字カード」を一文字ずつに切った、ばらばらのひらがなチップ』から、「文字カード」の上に並べさせ、並べた一文字を口頭で確認する。分からないときは、ひっくり返した白紙の「文字カード」を提示する。並べた一文字を口頭で確認する。

<材料>

- ・市販の文字・絵カード、文字カードのコピーを一文字ずつに切った物

<工夫点>

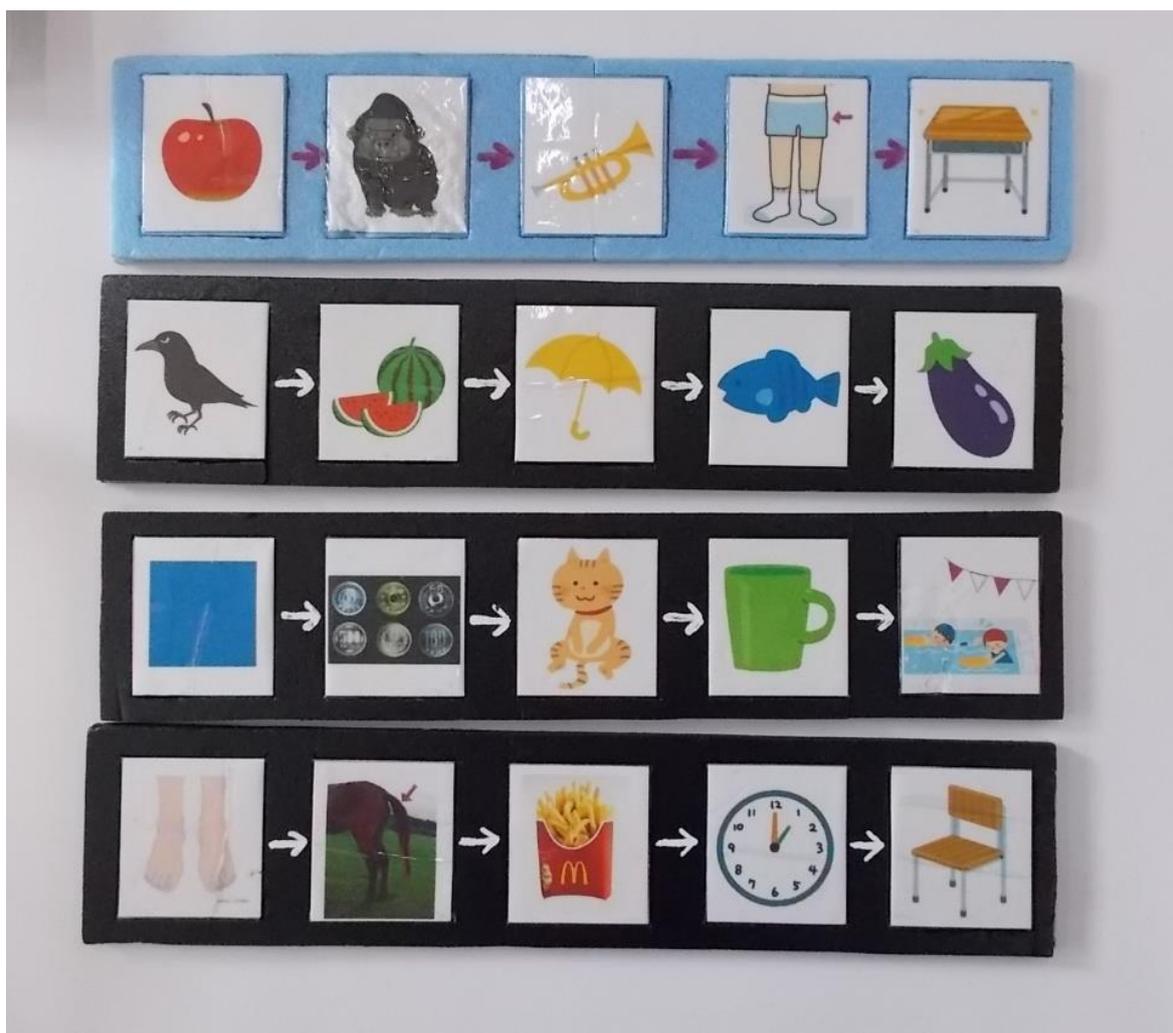
- ・使い慣れた絵・文字カードから「ひらがな一文字」ずつを認識できるようにした。

<効果>

- ・50音表で、口頭で聞いたひらがな一文字ずつを指さしてほぼすべて答えられるようになった。

教材教具名	しりとり練習	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しりとりの規則性を理解する</li> <li>・身近なものの言葉を覚える</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・しりとりが完成するよう、型にイラストのピースをはめていく。

<材料>

- ・イラスト、プラスチックボード

<工夫点>

- ・イラストのピースを取り外しできるようにして、穴抜きにしたり、順番を入れ替えたり、様々なパターンで練習できるようにした。

<効果>

- ・言葉の頭文字を意識して、課題に取り組むことができるようになってきた。

教材教具名	あいうえお	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・文字の習得		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・イラストを見て、名前の頭文字のひらがなを選んで貼る。

<材料>

- ・ラミネート ・ファイル ・リング ・マジックテープ ・台紙

<工夫点>

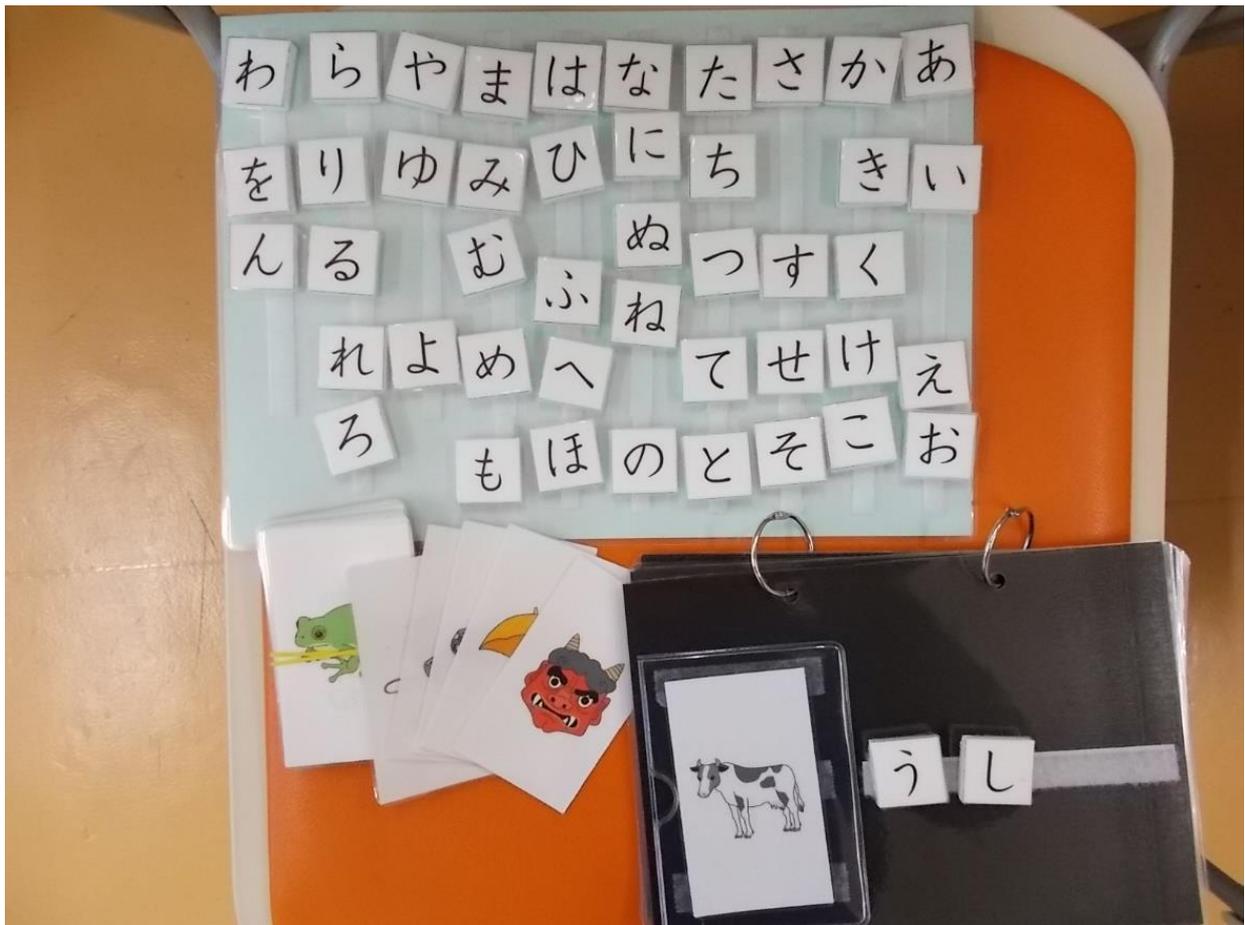
- ・イラストは、児童の知っているもの、好きなキャラクターなどを使って作った。

<効果>

- ・文字をまとまりでなく、一文字ずつの理解が深まった。

教材教員名	単語構成	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストを見て文字チップを並べる活動を通して、文字を正しく構成する力を養う。</li> <li>イラストと物の名前、文字と音の一致を定着させる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- イラストカードを複数枚並べ、「〇〇はどれだ？」と質問し、1枚選ばせる。正解したカードは構成シートのポケットに入れる。このやり取りを複数回繰り返す。
- 文字チップを提示する。「〇〇、つくってください」と伝え、構成シートに文字チップを並べさせる。
- 誤りがあった場合は、イラストカード裏を見ながらやり直させる。

<材料>

- 画用紙、ラミネートフィルム、マジックテープ

<工夫点>

- ゲーム感覚で行えるように、クイズから取り組み、モチベーションにつなげた。

<効果>

- 物の名前への興味が高くなったようで、指差しで名前を聞くやり取りが増えた。

教材教具名	漢字フラッシュカード	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	国語
ねらい	・漢字の一部を見て、何の漢字かを答える。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・MD ケースに形カード一枚と漢字カードを数枚セットし、答えた漢字カードを順に抜いていく。

<材料>

- ・MD ケース、ラミネートした形カードと漢字カード

<工夫点>

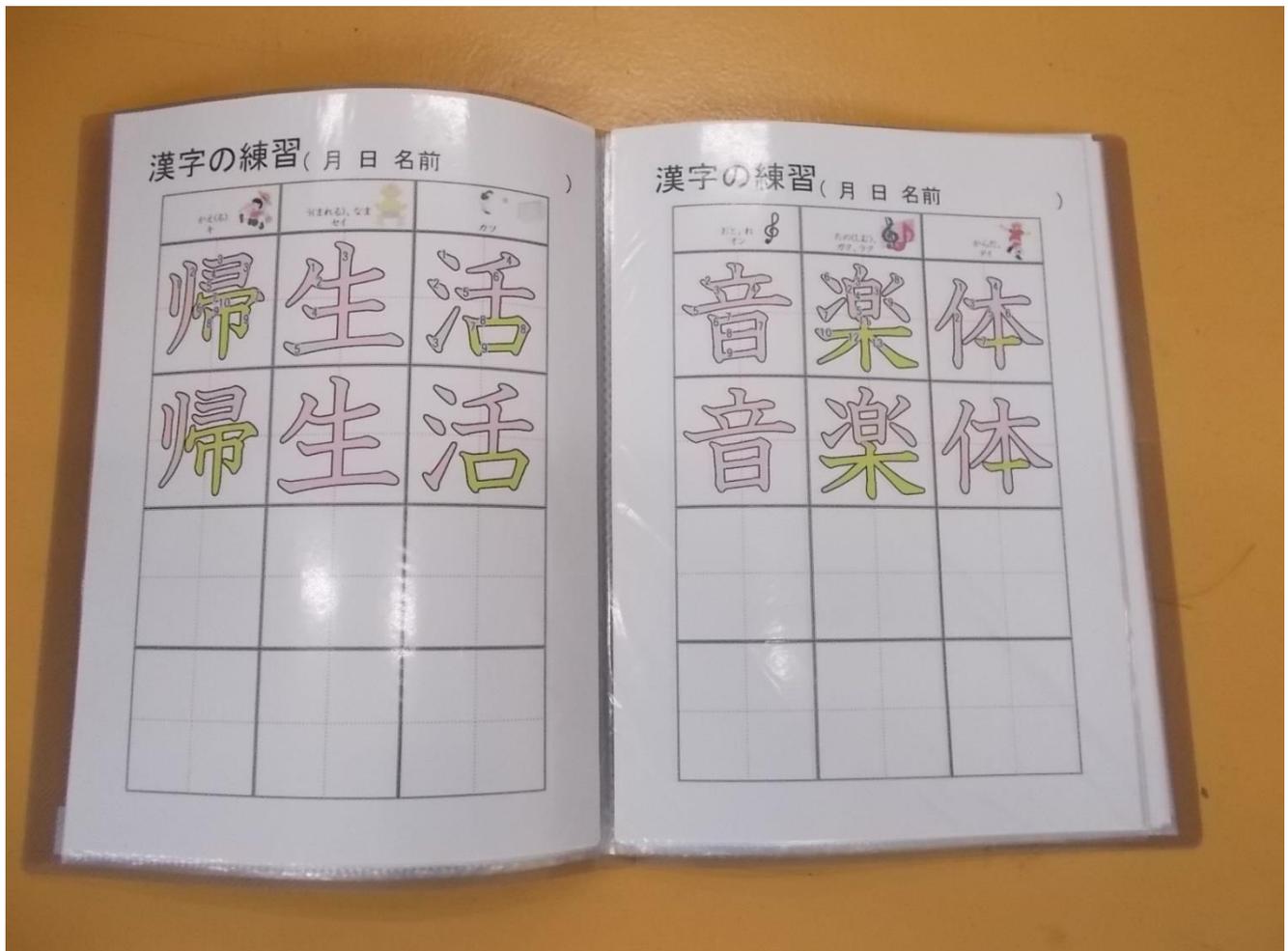
- ・形カードをいくつか用意することで難易度を変えることができる。
- ・形カードは小さめに作ることで漢字カードがケースから抜きやすくなる。

<効果>

- ・プリント学習よりもゲーム感覚で漢字の学習ができる。

教材教員名	漢字プリント	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・個別課題学習（中学部）
ねらい	・学校で使用することばの漢字を学習させる		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・筆順に留意しながらなぞり書き、写し書きをさせる。

<材料>

- ・プリント

<工夫点>

- ・筆順に合わせて、赤系、緑系の色分けをした。

<効果>

- ・形だけでなく、筆順も意識して書くことで字形が整いやすくなった。

教材教具名	名札をかける色のマッチング	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色のマッチングができる。</li> <li>・手指の巧緻性を高める。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・名札を色ごとにフックにかけていく。

<材料>

- ・木の板・L字フック・名札・フォトフレーム

<工夫点>

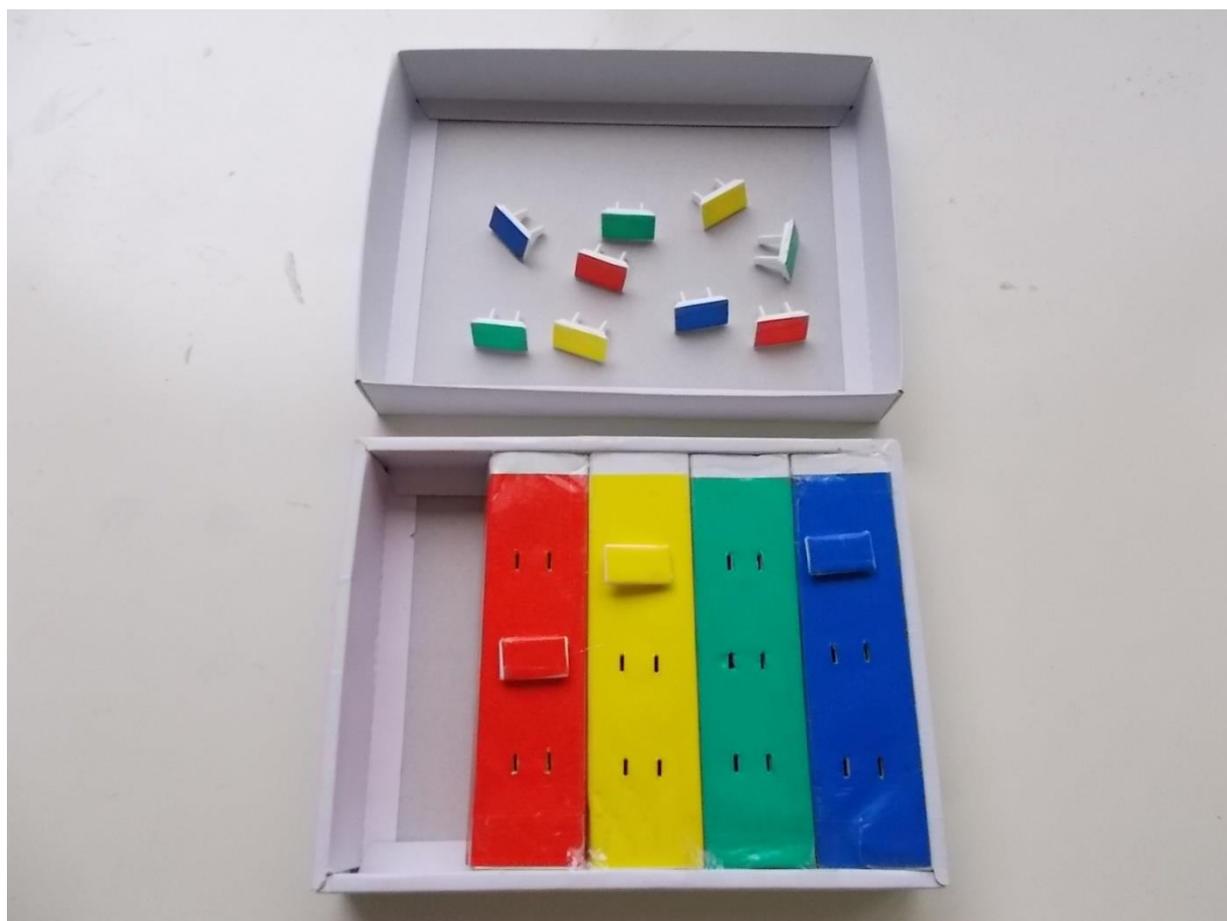
- ・カチッとハマること、達成感を得られるようにした。

<効果>

- ・回数を重ねること、色のマッチングも、フックに名札をかける手先の動きも向上し、スムーズに課題を進めることができるようになった。児童の様子によって、名札の枚数を増やすなどして対応した。

教材教具名	色マッチングプットイン (コンセントカバー)	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土台と同じ色のコンセントカバーを選ぶことができる。</li> <li>・コンセントカバーの先を穴に合わせ、指先に力を入れてはめることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・箱を開けて課題をはじめ。色マッチングをしながら、コンセントカバーを土台にはめていく。全てできたら箱を閉めて課題が終了。

<材料>

- ・空き箱・板目紙・折り紙・クリアテープ・コンセントカバー

<工夫点>

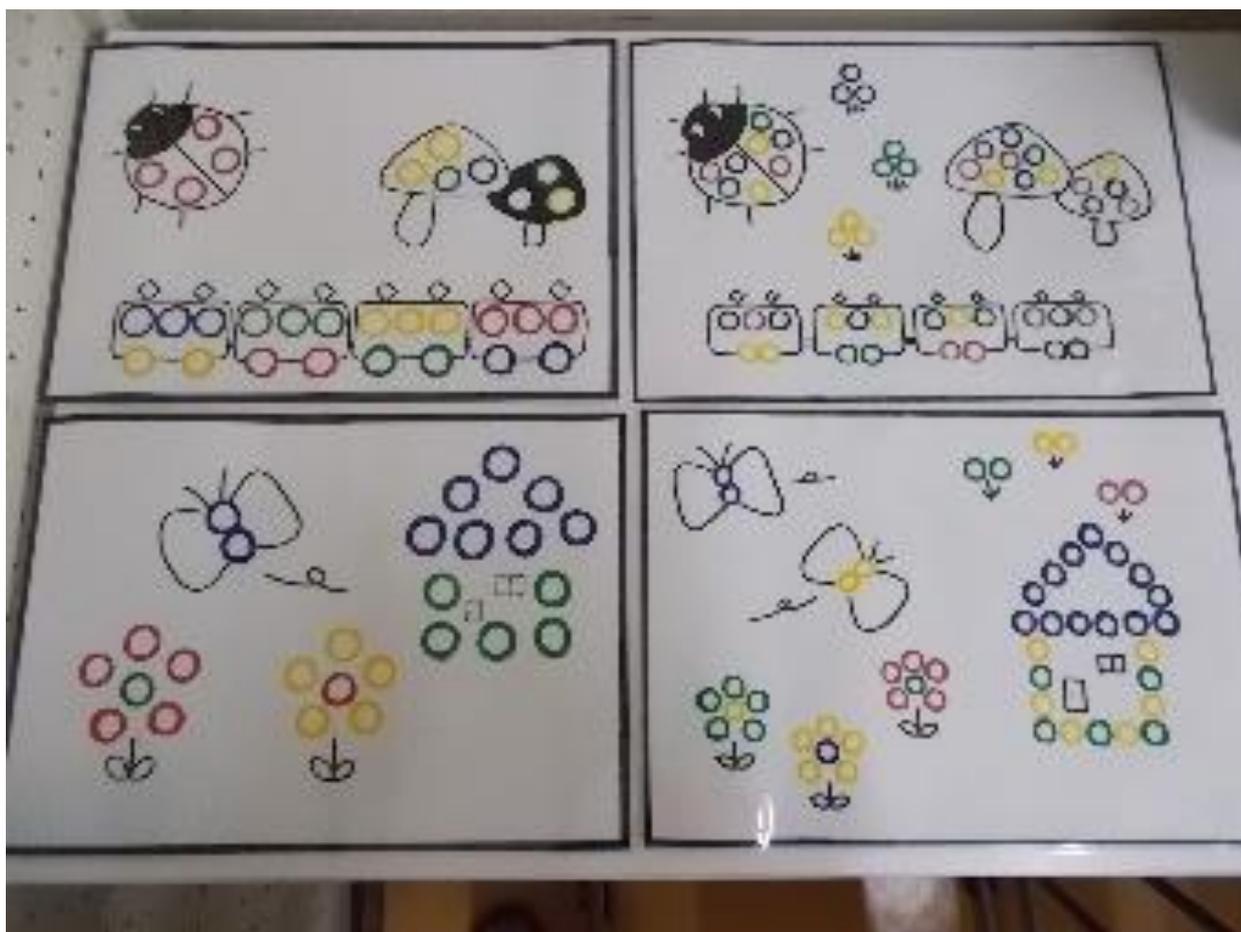
- ・4色の土台を固定し、1つの箱の中で課題が完結するようにした。
- ・色マッチングにプットインの要素を加えた。

<効果>

- ・「あか、おなじ」と言葉かけをしながら学習を重ねることで、色のマッチングができるようになってきた。
- ・既に色のマッチングができる児童にも、集中して取り組める自立課題になっている。

教材教具名	ドットシール貼り	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見る力を養う。</li> <li>・色の弁別ができるようになる。</li> <li>・手指の巧緻性を高める。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・台紙、使用する色・枚数のみがあるシールシートを渡し、取り組ませる。

<材料>

- ・A4用紙 ・ペン ・ラミネートフィルム ・ドットシール

<工夫点>

- ・繰り返し使えるようにラミネートをかけた。
- ・2色のシールを用いる小さい台紙から取り組ませ、徐々にシールの色や種類を増やした。また、ドットシールの大きさも徐々に小さくした。

<効果>

- ・色の弁別が確実になったうえ、シールをはがす際に両手を使うことから、手元をよく見て活動するようになった。

教材教具名	いろをあわせよう	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・色の識別 ・手指の巧緻性		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・○を移動させながら、色を合わせる。

<材料>

- ・丸い箱 ・割り箸 ・ビーズ ・シール ・丸い板など ・下敷き ・グルーガン

<工夫点>

- ・単純な色合わせではなく、少し考えて取り組めるようにした。

<効果>

教材教具名	色弁別	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・赤、黄、青、緑、オレンジ、紫の色に分けることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・イラストをそれぞれの色の台紙に分けて貼る。

<材料>

- ・イラスト、台紙、ラミネートフィルム、マジックテープ

<工夫点>

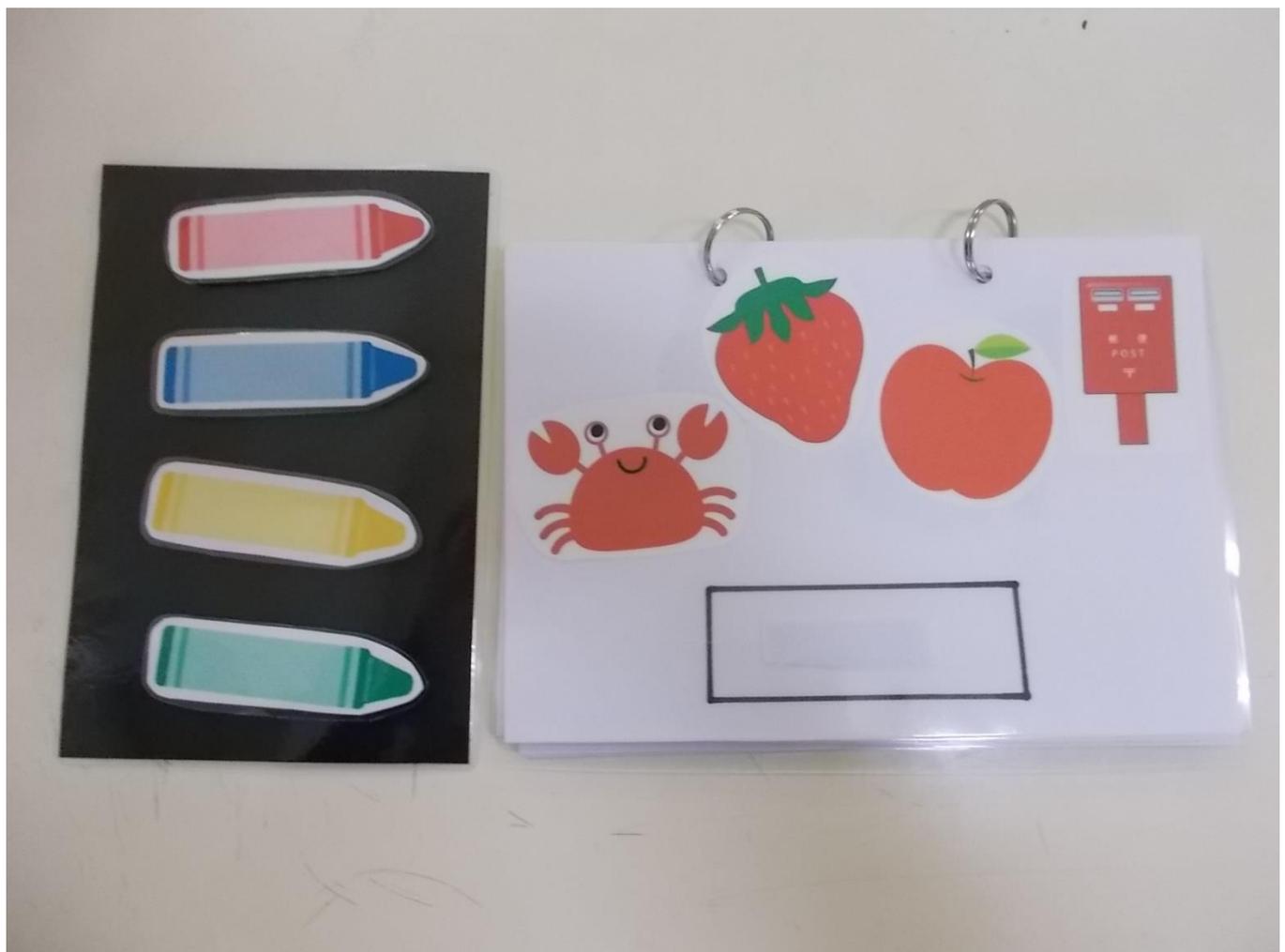
- ・ものが違っても、色弁別ができるように、イラストはバラバラのものを用意した。

<効果>

- ・色弁別ができるようになり、身近なものの色を聞いても答えられるようになった。

教材教具名	どんな色が好き？	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・色名を覚える。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・「どんな色が好き？」の歌に合わせて、台紙にクレヨンを貼っていく。

<材料>

- ・クレヨンのイラスト、各色の台紙

<工夫点>

- ・歌が好きな児童の実態に合わせて作成した。

<効果>

- ・歌に合わせて行うことで、教員とのやり取りも楽しみながら学習することができた。

教材教具名	ぬり絵	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・絵を見て色をイメージすることができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・絵を見て、何の絵かを児童に聞く。その後、色を聞き、色鉛筆を選び、色を塗る。

<材料>

- ・イラスト、色鉛筆

<工夫点>

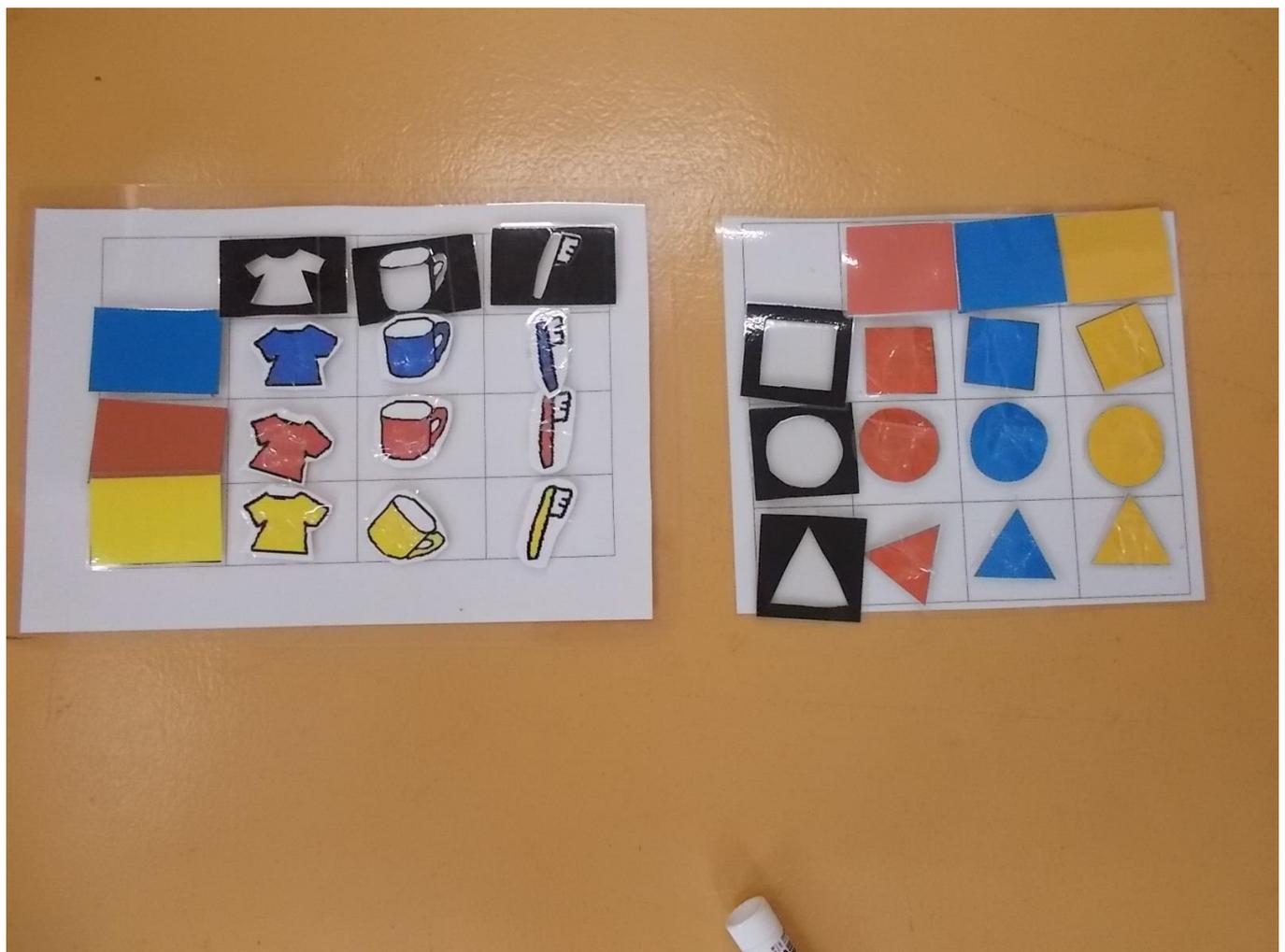
- ・児童の負担にならないようにイラストの大きさを小さくした。

<効果>

- ・表出の少ない児童も質問に答え、色を塗ることができた。

教材教員名	マトリックス	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・色と形がわかり、表を埋めることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・色と形の表を埋める。

<材料>

- ・紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

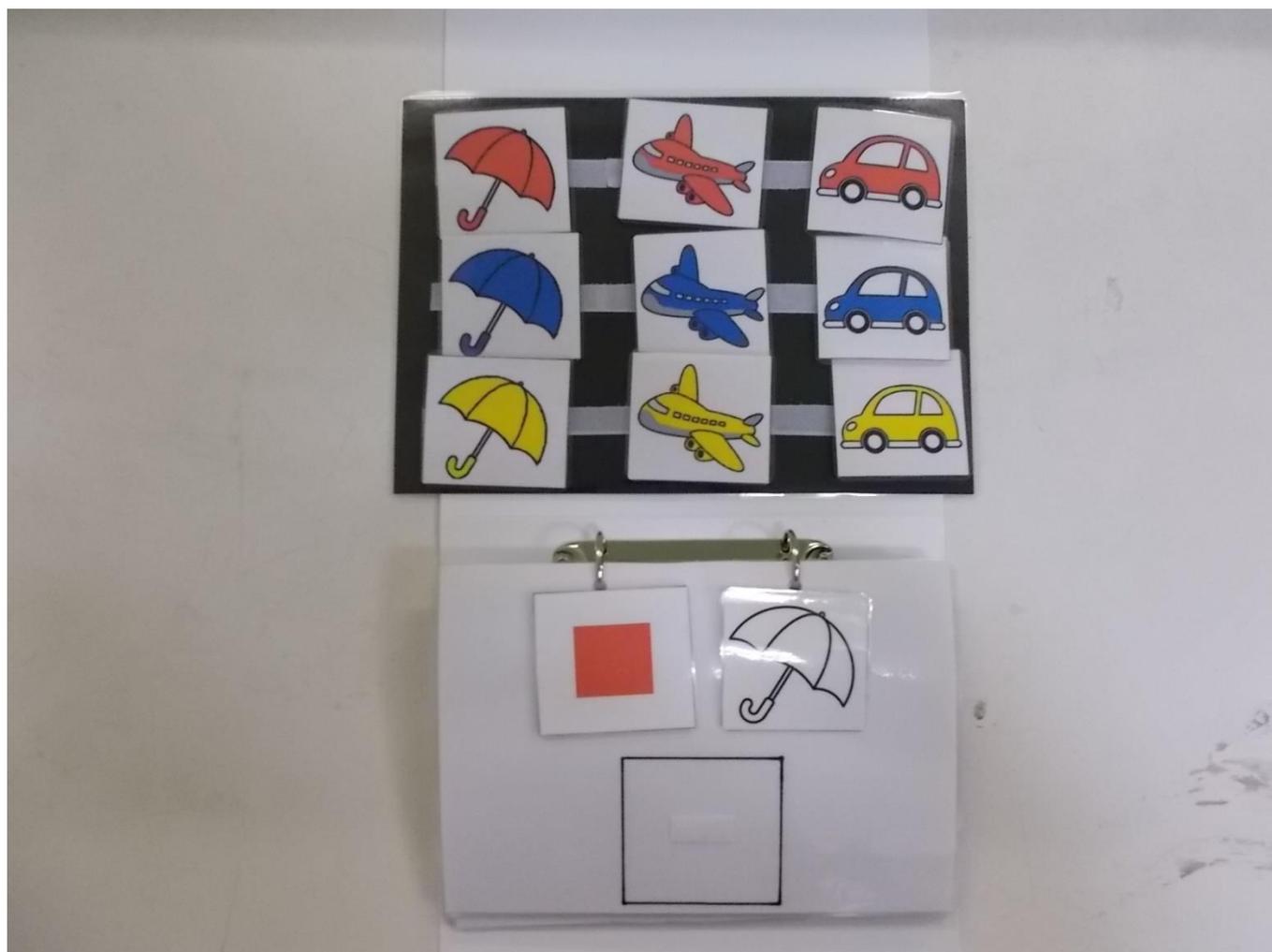
- ・色と形を合わせたときに、正解がわかる。

<効果>

- ・はじめは難しいが、少しずつわかるようになってきた。
- ・やり方がわかってきた。

教材教具名	色と形の統合	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色カードと白黒のイラストを見て、その二つが統合したものを選ぶ。</li> <li>・色の名前を覚える。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・色カードと形のカードが貼られたものの下にある黒枠に、その二つが統合されたカードを貼る。

<材料>

- ・2リングファイル・色カード・白黒のイラストカード・色付きイラストカード

<工夫点>

- ・ブック式にすることで、一人で学習に取り組めるようにした。

<効果>

- ・一人で学習に取り組むことができていた。色の名前とイラストのものの名前を言いながら学習していた。

教材教具名	マトリックス	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・色と形の統合や色と形の分離。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・はじめはいくつかはめておき、徐々に数を増やしていく。

<材料>

- ・ダンボール ・のりパネ ・ラミネート ・台紙

<工夫点>

- ・色ではなく、興味関心をもって取り組めるように児童の好きなキャラクターで作った。

<効果>

- ・色や形の理解が深まった。

教材教具名	○・△・□の分類	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・3種類の図形を正しく分類することができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・選んだカードを○・△・□それぞれ該当するケースに入れる。

<材料>

- ・ケース、板目紙、カバーフィルム

<工夫点>

- ・やることを分かりやすくするために、つくりをシンプルなものにした。

<効果>

- ・見本カードに重ね合わせてから分類する様子が見られた。現在は3種類の形の分類を行っているが、4色の色の分類でもやってみたい。

教材教員名	仲間集め	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・多数の選択肢の中から仲間を選んで分類をする。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・表の上側に示されているイラストを参考に、選択肢の中から仲間を探して貼っていく。

<材料>

- ・2リングファイル・イラストカード・表

<工夫点>

- ・ブック式にすることで、一人で学習を進められるようにした。
- ・選択肢が貼ってある紙を黒にすることで見やすくした。

<効果>

- ・一人でどんどん学習を進めることができていた。好きなものや知っているものの名前を言いながら学習に取り組むことができた。

教材教員名	ジャンル弁別	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習
ねらい	・食べ物、乗り物、動物に分けることができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・イラストをそれぞれの台紙に分けて貼る。

<材料>

- ・イラスト、台紙、ラミネートフィルム、マジックテープ

<工夫点>

- ・イラストは本児の知っているものを用意した。
- ・台紙の背景をそれぞれのジャンルに結びつくようなヒントになっている。

<効果>

- ・それぞれの台紙に間違えずに貼れるようになった。

教材教員名	仲間分け	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 様々な種類の帽子・かばん・机を分類することができる。</li> <li>• 分類する物を答えることができる。</li> <li>• 分類した物の文字を選ぶことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 各ページに1枚貼ってあるイラストの名前を答える。次にイラストカードを同じ種類ごとに仲間分けする。最後に分類した物の文字を選択し貼る。

<材料>

- ラミネエーとした用紙、マジックテープ、イラストカード、文字カード

<工夫点>

- 身近な物を選び、本児が答えやすいようにした。

<効果>

- 「これはなに？」とイラストを指さしながら聞くと、「ぼうし」等と答えることができた。
- 様々な種類の帽子・かばん・机を分類することができた。

教材教具名	カテゴリー分け	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題
ねらい	・カテゴリーの理解		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・カードを複数枚並べ、カテゴリーに当てはまるものをかごの上に置いていく

<材料>

- ・ラミネートしたカード、マグネットシート

<工夫点>

- ・買い物かごの上に提示されたカテゴリーのものを置いていくことで、単にカテゴリー分けをするのではなく、モチベーションを高めながら学習することができる。

<効果>

- ・カテゴリーの学習をくり返し行うことができる

教材教具名	丸磁石でなぞり書き	分類	記号の学習—書字にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・溝に沿って丸磁石を手順通りに動かすことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・鉛筆で溝に沿って丸磁石を動かす。

<材料>

- ・カラーボード、ホワイトボード、丸磁石、鉛筆

<工夫点>

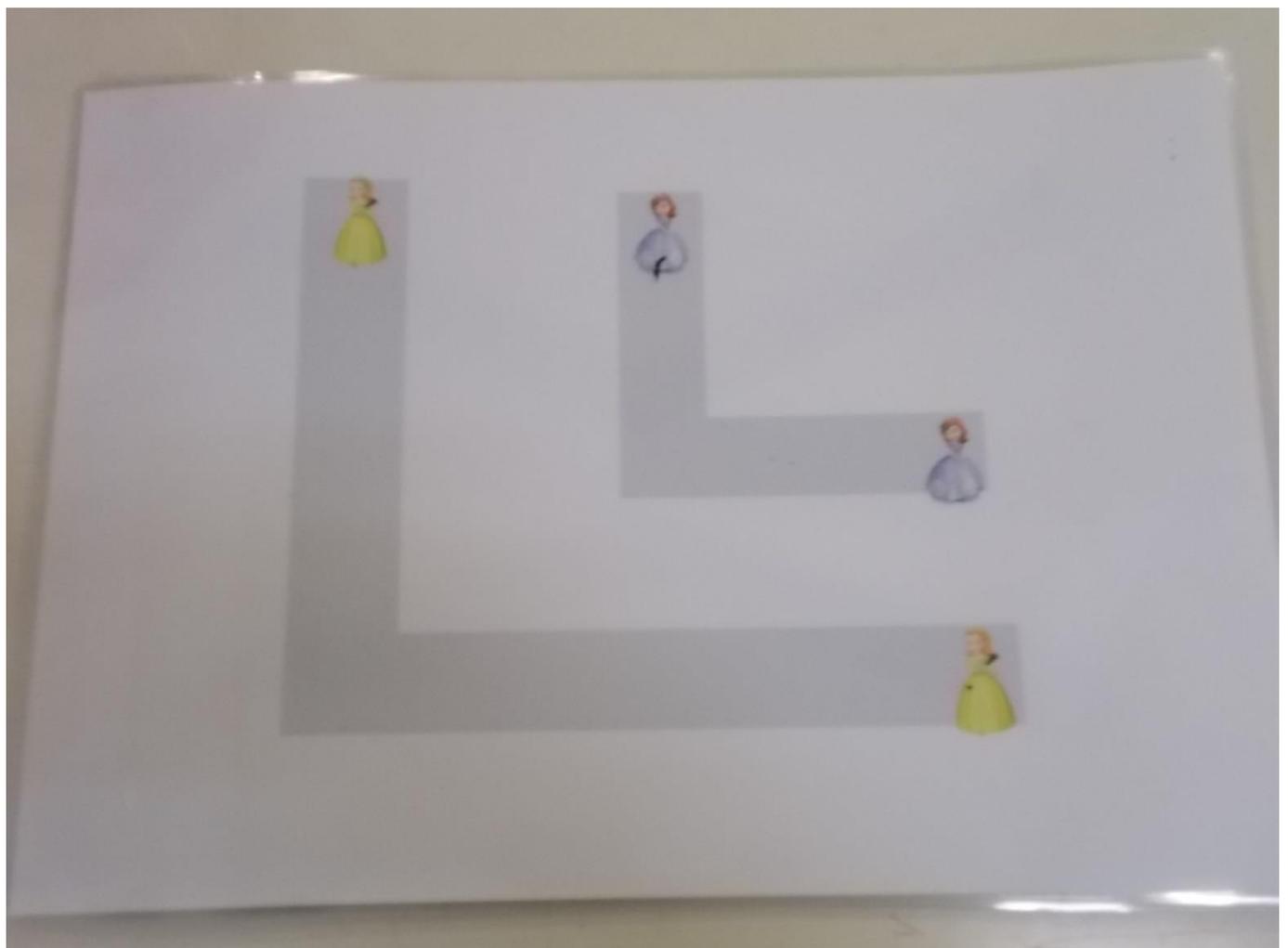
- ・数字の形に溝を作ることで、数字の形や書き順が一緒に練習できるようにした。書き順ごとに丸磁石の色を変えた。

<効果>

- ・鉛筆でマグネットを動かすことで、手指への力の入れ方を練習できた。数字の形や書き順の確認ができた。

教材教具名	なぞり書き	分類	記号の学習—書字にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・ 枠線の内側からはみ出さずに線を書くことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ キャラクターからキャラクターまで線を書く。

<材料>

- ・ プリント、ラミネート、ホワイトボードマーカー

<工夫点>

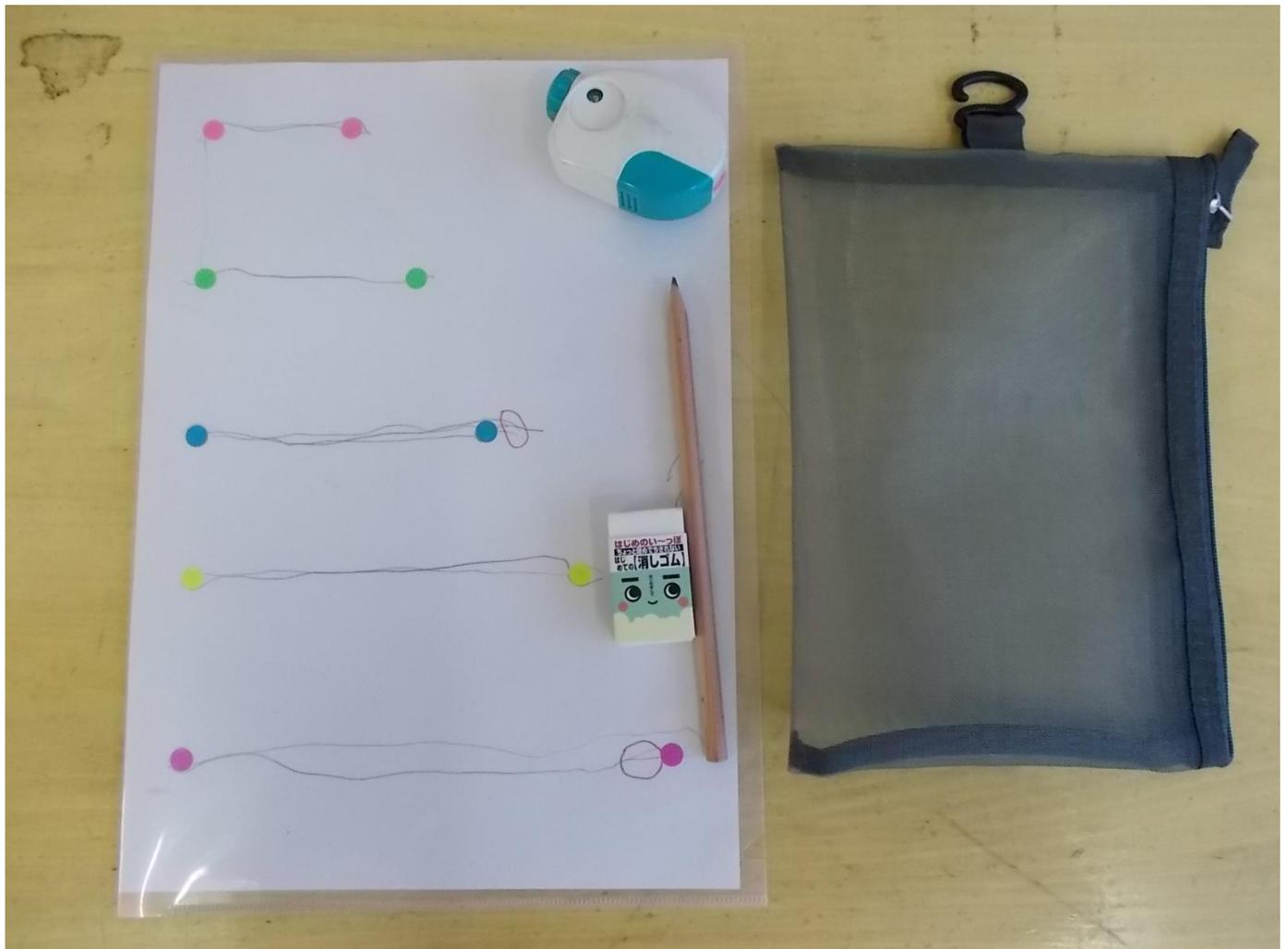
- ・ 好きなキャラクターを取り入れることで、楽しみながら学習できるようにした。

<効果>

- ・ 「〇〇から〇〇までタッチ！」と言葉をかけると始点と終点を意識して取り組むことができた。

教材教員名	点繋ぎ	分類	記号の学習－書字にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>点と点を繋ぐことができる。</li> <li>鉛筆を使って、線を引くことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・同じ色の点を鉛筆で繋ぐ。

<材料>

- ・点繋ぎ・なぞり書きの用紙、三角鉛筆、消しゴム、鉛筆削り

<工夫点>

- ・手指の力が弱い本児が持ちやすいよう、三角鉛筆を使用した。
- ・短い点から段々引く長さを伸ばした。

<効果>

- ・鉛筆を使って、概ね真っ直ぐ線を引くことができた。

教材教具名	数字のなぞり書き	分類	記号の学習—書字にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・線の上をなぞり書きすることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・マジックペンで、板磁石の数字をなぞる。

<材料>

- ・板磁石、ホワイトボード、マジックペン

<工夫点>

- ・板磁石で数字の形を作ることで、線の上とそれ以外に段差をつけた。

<効果>

- ・線からはみ出した際に、自ら気が付き修正することができた。

教材教具名	一対一対応	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	国語・数学 個別課題学習
ねらい	・マス目にひとつずつカードを並べ、一対一対応を学ぶ		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・マス目にカードを並べさせる。

<材料>

- ・ホワイトボード、カード、テープ、シール

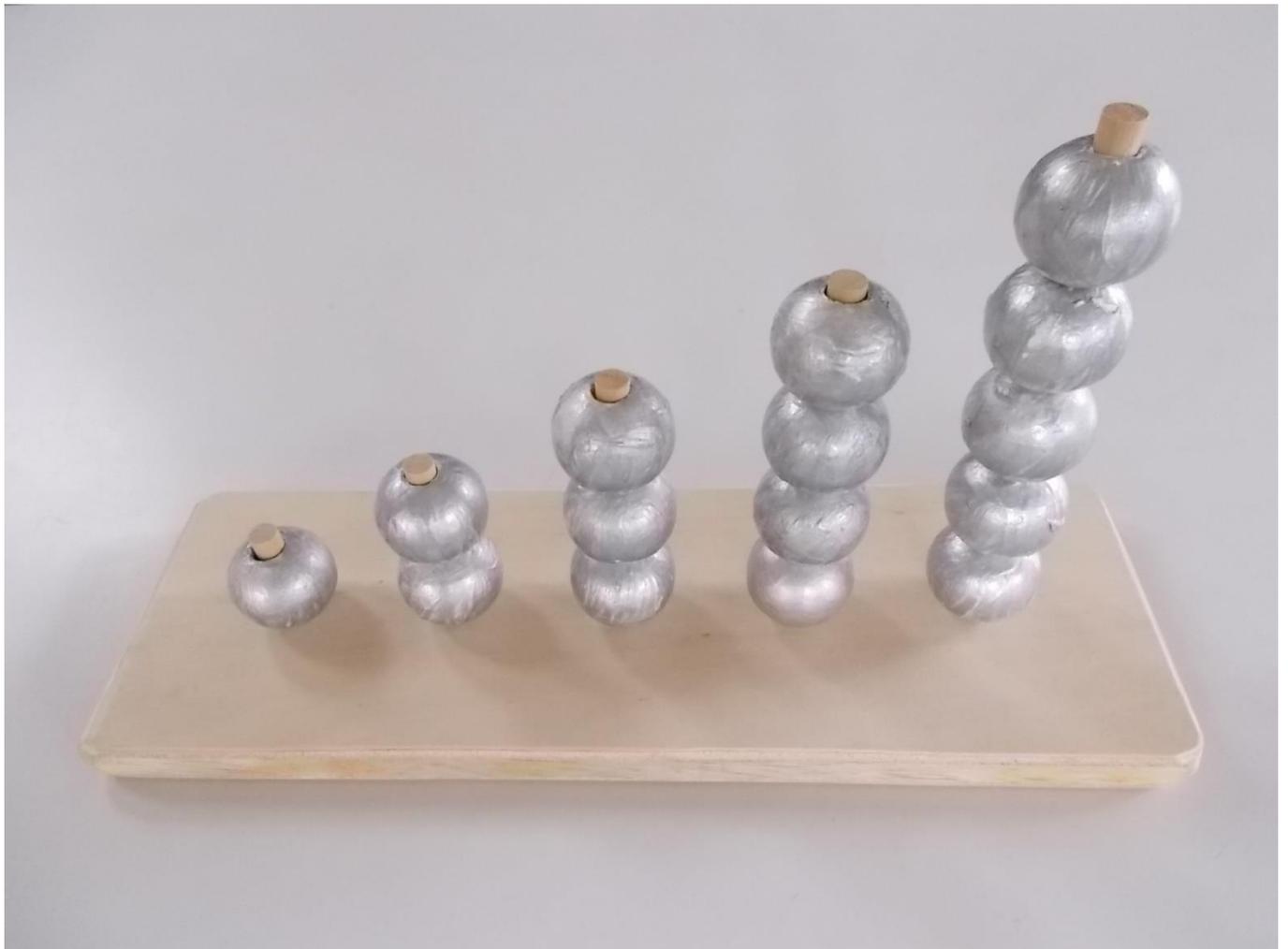
<工夫点>

- ・カードを本人が好きな電車にした。

<効果>

教材教具名	球入れ	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目と手の協応</li> <li>・（応用）1～5までの学習</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・見ての通りです（棒は1～5までのパターンと5×5本のパターンと選べます）

<材料>

- ・筑波大学付属大塚特別支援学校で購入（球は東急ハンズで売ってます）

<工夫点>

<効果>

- ・最初は長さの異なるものから取り組んでいったほうが混乱しなくて良いと思います。
- ・終わりが分かりやすいので、集中して取り組んでくれます。

教材教具名	大小の分類	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・大小の違いに注目することができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ①やり取り課題：大小それぞれの同じイラストチップを提示し、『おおきいボード』『ちいさいボード』に分類する。
- ②自立課題：イラストカードを大小に分類させる。カード裏を見て答え合わせをする。

<材料>

- ・イラスト、ラミネートフィルム、ホワイトボード、ケース

<工夫点>

- ・同一のイラストで活動が異なる2種類の課題を設定した。

<効果>

- ・同一種類で大きさが異なるものであれば、身近なものでも大小を分類することができるようになった。

教材教具名	太さの学習	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	国語・数学 個別課題学習
ねらい	・太さの違いを理解する		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

黒い面に土台と円柱（必要分）をセットする。  
 穴の太さと円柱の太さを見比べてはめていく

<材料>

木材、箱

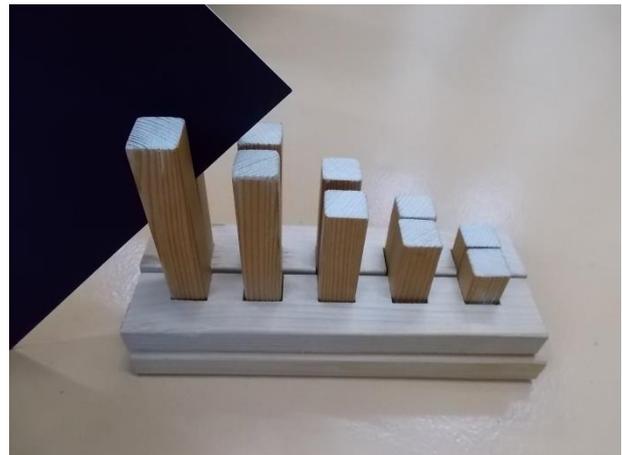
<工夫点>

黒い面に円柱を置くことで太さに注目しやすくした。

<効果>

教材教具名	長さの学習	分類	記号の学習—数の理解にむけて
		授業名	国語・数学 個別課題学習
ねらい	・長さの段階的な違いを理解する		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

A 透明の板を使用して

- ① 透明の板と見本の棒をセットする
- ② 見本に合わせて同じ長さの棒をさしていく

B 黒の板を使用して

- ① 黒の板と正解の棒をセットする。また一番短い、または長い棒を端にあらかじめはめておく。
- ② あらかじめはめてある棒から順に長くまたは短くなるように棒をさす。

<材料>

- ・木材、プラスチック板

<工夫点>

- ・板を外して、正解を実物と照らし合わせて確認できるようにした。

<効果>

教材教員名	数列パズル	分類	記号の学習—数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習（高等部）
ねらい	・数列を学習する		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・数を数えながら、カードを順に裏返していき、パズルを完成させる。

<材料>

- ・ホワイトボード、マグネット、スチレンボード

<工夫点>

- ・厚みのあるカードにすることでめくりやすい。
- ・児童・生徒の好きな絵を用いることで、10まで数えることへのモチベーションがあがる。

<効果>

- ・数列の理解につながる。

教材教員名	数字の読み方	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・数字の読み方を理解する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・「数字の歌」に合わせて、イラストの下に数字チップを貼る。すべて数字を貼ったら1から10まで読む。

<材料>

- ・ホワイトボード・数字のイラスト・数字チップ

<工夫点>

- ・歌が好きな児童が楽しく学習できるように、歌を通した学習方法を選択した。
- ・イラストを描くことで歌の内容や数字をわかりやすくした。

<効果>

- ・教員と一緒に歌を歌いながら楽しく学習することができた。

教材教具名	1 2 3 (バイキンマン)	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・ 1～3の数量の理解		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・ 容器に描かれている数を見て、ただし数のバイキンマンを入れていく。

<材料>

- ・ 容器 ・ シール ・ ペン ・ おはじきなど

<工夫点>

- ・ 児童が興味関心をもち取り組めるように、好きなキャラクターを使って作った。

<効果>

- ・ 数量の理解が深まった。

教材教具名	1 2 3 (アンパンマン)	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・ 1～3の数量の理解		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・ 袋に書かれている数を見て、正しい数の分だけアンパンマンを入れる。

<材料>

- ・ 袋 ・ シール ・ ペン ・ マグネット ・ ホワイトボード

<工夫点>

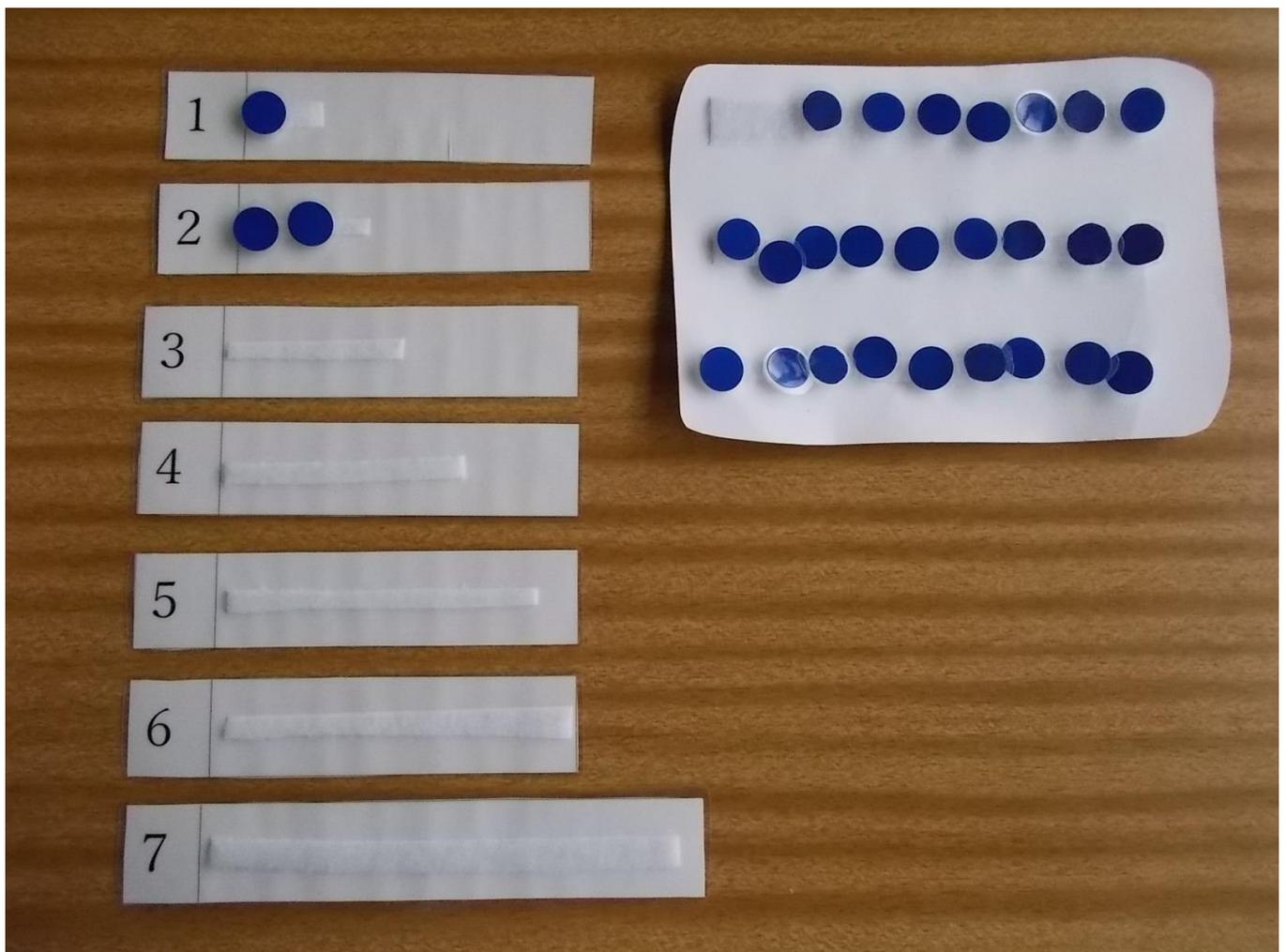
- ・ 児童が興味関心をもち取り組めるように、好きなキャラクターを使って作った。

<効果>

- ・ 数量の理解が深まった。

教材教具名	数1～7	分類	記号の学習—数の理解にむけて
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・数1～7の概念を定着する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・指定された数のドットチップをシートに貼る。

<材料>

- ・色シール、マジックテープ、ラミネートフィルム、紙

<工夫点>

- ・マジックテープの長さをヒントに取り組めるよう調整した。

<効果>

- ・1～7を数えられるようになってきた。